



【特集】

鹿児島・奄美フィールドワーク

地理的な離島はあっても
人の生命に
離島があってはならない

人権・平和の大切さ、離島医療の
現状と民医連の役割を学ぶ

● 医学生のための
サポートセンター

● いがくせいだより
● けんしゅうエッセー

医学部を目指す
あなたに
読んでほしい！

● 合格HISTORY

● 高校生・受験生の
みなさんへ
「未来の医師を応援」

● なにわの医療道場

私たちは
おおさか民医連
Osaka Min-iren



大阪民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。2025年、連合会設立から72年を迎えました。現在、4つの病院、48の診療所、7つの歯科診療所、31の訪問看護ステーション、34の保険薬局、2つの老人保健施設、薬剤・診療材料センター、看護専門学校、検査センター、在宅看護支援センターそして社会医学研究所が、大阪民医連に加盟しています（2025年5月時点）。病院・診療所での実習を、随時受け入れています。

※医学生サポートセンターは、阿倍野医学生サポートセンター（大阪公立大学近辺）、枚方医学生サポートセンター（関西医科大学近辺）、狭山医学生サポートセンター（近畿大学医学部近辺）の3つです。

奨学金
制度

大阪民医連では、いつでも、どこでも、だれもが安心してよい医療を提供できる医療機関を目指しています。私たちの医療活動に共感し、ともに働く意思のある方を対象に奨学金を貸与しています。

●対象学年と奨学金（月額）

Aコース

1～2年生 50,000円

3～4年生 60,000円

5～6年生 70,000円

Bコース

全学年 100,000円

他の奨学金と併用できます。詳しくはお問い合わせください

大阪民医連の病院紹介（詳細は各病院のHPをご覧ください）

臨床研修
指定病院



耳原総合病院（病床数 386床）

●大阪府堺市堺区協和町4丁465 TEL.072-241-0501代
●南海高野線堺東駅よりバス10分

臨床研修
指定病院



西淀病院（病床数 218床）

●大阪市西淀川区野里3-5-22 TEL.06-6472-1141
●JR東西線御幣島駅徒歩5分



東大阪生協病院（病床数 99床）

●東大阪市長瀬町1-7-7 TEL.06-6727-3131
●近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分



コープおおさか病院（病床数 166床）

●大阪市鶴見区鶴見3丁目6-22 TEL.06-6914-1100
●地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分

大阪民医連

（大阪民主医療機関連合会）

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階
TEL. 06-6268-3970

<http://www.oskmin-igakusei.com/>

医学生・研修医ドットコム 検索



facebook



X (旧Twitter)



医学生・研修医.com

私たちは民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織です。
戦後、医療に恵まれない人々と医療従事者が手をたずさえて各地で民主診療所が作られました。そして、1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を立ち上げました。

それから72年、なによりも地域の人たちの思いを大切に、地域に求められる医療を行ってきました。

最も困難な人たちの立場に立つて、寄り添う。

設立以来一貫して、無差別・平等の理念を掲げる私たちの病院は、差額ベッド代を(※1)頂いていません。また、無料低額診療にも(※2)取り組んでいます。これは、「お金のあるなしで医療に差別があつてはならない」という私たちの考えによるものです。

※1…医療保険外の実費負担費用。病院によって金額は異なる ※2…低所得者などに無料または低額な料金で行う診療

民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日
全日本民主医療機関連合会

民医連の組織現勢

全日本民医連加盟事業所数	(2023.12現在)
病院	143
有床診療所	11
無床診療所	468
歯科診療所	78
訪問看護ステーション	221
保険薬局	346
薬剤・診療材料センター	33
看護・介護学校	8
検査センター	1
老人保健施設	50
介護医療院	2
在宅介護支援センター	23
特別養護老人ホーム	38
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパーステーション	49
グループホーム	22
在宅介護福祉関係	211
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,733

主な医療団体との比較

職員数

民医連	82,154 (2023.3.31)
日赤	67,403 (2023.3.31)
厚生連	54,620 (2023.3.31)
済生会	64,000 (2022年度)

1日平均の外来患者数

民医連	46,460 (2022年度)
日赤	約65,000 (2022年度)
厚生連	約42,441 (2023.3.31)
済生会	約25,589 (2022.3.31)

訪問看護ステーション数

民医連	221 (2023.12.31)
日赤	46 (2016.1.1)
厚生連	97 (2023.3.31)
済生会	58 (2023.12.27)

診療所数(医科のみ)

民医連	479 (2024.1月)
日赤	5 (健康管理センター2を含む) (2021.3.31)
厚生連	60 (2023.3.31)
済生会	21 (2023.1.31)

1日平均の入院患者数

民医連	20,094 (2023.3.31)
日赤	約26,000 (2022年度)
厚生連	約22,763 (2023.3.31)
済生会	約16,602 (2022年度)

病院数

民医連	143 (2023.12.31)
日赤	91 (2022.3.31)
厚生連	103 (2023.3.31)
済生会	81 (2022年度)

病床総数

民医連	24,832 (2023.3.31)
日赤	34,777 (2023.3.31)
厚生連	32,313 (2023.3.31)
済生会	22,191 (2021年度)

(調査日)

特集 鹿児島・奄美フィールドワーク

地理的な離島はあっても 人の生命に離島があつては ならない

人権・平和の大切さ、離島医療の 現状と民医連の役割を学ぶ

大阪民医連の医学生奨学生は、2025年3月6日～9日、鹿児島県南九州市・奄美大島にてフィールドワークを実施しました。医学生3名・医師1名・医学生担当者4名が参加し、奨学生から要望のあった知覧特攻平和会館や、離島医療を実践する奄美大島を訪れました。知覧では戦争が生み出した人権侵害について、奄美では離島での地域医療の現状とそこで民医連が果たす役割を学びました。年間目標「医療アクセスと貧困」の集大成であるフィールドワークの様子を、学生の感想とともにご紹介します。



- 3/6 (木)** 知覧特攻平和会館訪問 (南九州市)
- 3/7 (金)** 奄美医療生協 奄美中央病院訪問 (奄美市名瀬)
- ・訪問診療・リハビリ同行 (3コース)
 - ・院内見学
 - ・平元院長の講演
- 3/8 (土)** 奄美医療生協 南大島診療所訪問 (大島郡瀬戸内町)
- ・福崎所長との交流
 - ・盛事務長・渡山看護主任との交流
 - ・診療所・介護老人保健施設見学
- 3/9 (日)** 伝統工芸大島紬の泥染め体験

特集

鹿児島・奄美フィールドワーク
地理的な離島はあっても
人の生命に離島があつて
はならない
人権・平和の大切さ、離島医療の現状と
民医連の役割を学ぶ

KAGOSHIMA・
AMAMI
FIELD WORK



4 days

泥染め体験で世界に一つしかないハンカチを作成



3 days

介護老人保健施設せとうちの解放的なデイケアルームで利用者さんと交流



2 days

ALS の患者さんのリハビリの実情を学びました



1 days

知覧特攻平和会館で戦争の悲惨さを学ぶ

知覧で命の価値を狂わせる
戦争に恐ろしさを感じた

初日は、第2次世界大戦中、特攻部隊の基地であった場所に建てられた知覧特攻平和会館を訪問し、音声ガイドを利用しながら館内を見学しました。特攻作戦は、重さ250kgの爆弾を装着した戦闘機で敵の艦船に体当たりで沈める、パイロットは必ず亡くなる「必死」条件の作戦です。館内では、亡くなった特攻隊員が両親や妻・子どもに送った膨大な数の遺書や遺品、実際に使用されていた戦闘機などが展示されており、それらを真剣な表情で時間をかけて読みすすめていました。

見学した内容を踏まえた「再び戦争を引き起こさないために、医療者にできることはなにか」という問いには、「医療者として、長期的に安定して医療を提供できる仕組みや最低限の生活保障をして戦争を引き起こさない世の中を作ること」「医療も戦争の道具になってしまう。そのことを意識して戦争に反対する意思を示すことが大切」との意見が出されました。

技術や知識だけでなく、
患者さんや地域と
信頼関係を築くことが大切

2日目からは奄美大島に移動し、奄美医療生協の職員の皆さんや地域の方々との交流を通して離島医療・地域医療の在り方を学びました。最初は奄美中央病院を訪れ、実際に3つのコースに分かれて訪問診療・訪問リハビリに同行し、その後院長である平元医師より「地域医療」をテーマにお話しいた

できました。

基幹産業の衰退によって島内若年人口が激減していること、物理的な距離によって生じる医療アクセスの困難さなど、奄美大島が抱える課題に対して、島内4つの病院や各診療所と法人の壁を越えて協力しなければ、島民のいのちと健康は守れないと紹介いただきました。講演の中で、「自分のやりたいことだけでなく、求められる場所や要求に応えることも大切」「これからの選択の中で80歳になった時に後悔しないと思える選択をしてほしい」とも訴えられました。

患者さんの医療・介護を受ける
権利を守るために

3日目には島南部に所在を置く南大島診療所を訪れました。盛事務長・渡山看護主任から、民医連の事業所として奄美本島からさらに南西にある清島へ1人の患者さんのために1時間近くかけて訪問リハビリに行っている経験や、本来の診療範囲ではない地域の患者さんも1時間30分以上かけて迎えに行かざるを得ない現状をお話いただきました。併設されている介護老人保健施設せとうちの見学では、デイサービスの利用者さんとも交流の時間をいただきました。利用者の方に「次は医師として奄美に来てね。待っているよ」と温かい言葉をかけていただき、様々な方からの期待を背負って診療所を後にしました。

その後、4日目には泥染め体験など、奄美大島の伝統や文化にも触れながら交流を深めました。

今回のフィールドワークでは、地域医療・離島医療の現状を学ぶとともに民医連医療の本質に触れる機会となりました。今後も、鹿児島・奄美での経験をもとに、よりよい医師・よりよい医療とは何かを考えるきっかけとなる企画を行います。

島田 佳奈子（三国丘高校卒、島根大学6年）

知覧特攻記念館には、戦闘機、特攻隊員の写真、遺品など数多くの展示があり、さまざまなことを学び、感じる事ができました。今回は展示を見るだけでなく、タブレットによる音声ガイドも利用させていただき、更に学びが深まったので、これから行く機会がある方は、ぜひ音声ガイドも利用して欲しいです。

特に印象に残ったのは、妻と子供に先立たれた藤井一少佐のことです。妻は自分たちがいては思う存分活躍できないからと子どもと荒川に身を投げました。音声ガイドでこのことを聞いた時、あまりの衝撃で理解が追いつかず、聞き間違いではないかとさえ思いました。藤井少佐は隊員を育てる立場であつたため、望んでいても特攻隊員になることを認められ

ていませんでしたが、家族のこともあり、その後特攻隊員として出撃することになります。

戦争は命の価値を狂わせてしまいます。多くの隊員が国のために死ぬ自分のことを誇りに思っていて欲しいと遺書に書き残しました。一方で出撃前には三角兵舎で枕を濡らした隊員も多くいたそうです。言論統制があつたため、そう書く以外に道はなかったという面もあるでしょうが、少年たちが本当にそう思つてもしまつてもおかしくはない時代だったのだと、とても恐ろしく感じました。



河 翔碩（桃山学院高校卒、長崎大学3年）

南大島診療所の福岡医師・盛事務長・渡山看護主任のお話を聴いて、医療アクセスの問題は大きいと感じました。島の西端部から1・5時間かけてこられる患者さんや、1個島を経由して訪問看護に行かないといけない患者さんなどの、アクセスが都市部（奄美大島の中心部含む）とはまったく異なる中で、どのように医療スタッフが工夫しているか、ということが印象に残っています。

また、介護老人保健施設の利用者さんとの交流も印象に残っています。利用者さんは、みなさん生き生きしておられて、「食べ物で自分をやる必要がなくて、非常に助かっている」、「家だと孤独だから、それが自宅通院だと嫌だけど、ここはみなさん優しいしさみしくない」とお話をいただき、のんびりした雰囲気でも過ごされていることが印象的でした。



田原 康太郎（那覇国際高校卒、長崎大学4年）

今回のフィールドワークで離島医療や地域医療の現場を実際に見学し、医療アクセスと貧困の問題について深く考える貴重な機会となりました。また知覧特攻平和会館では、戦時中の医療や人々の苦しみを知り、平和と医療の関連を強く感じました。



特に印象的だったのは、地域医療では「患者さんを診る」だけではなく「ゆりかごから墓場まで」という姿勢がとても大切であることです。患者さんと家族、地域全体を支えることが医療の本質であると気づかされました。また経済的に困難を抱える方々に対しても、医療費負担の軽減や地域との連携を通じて支援していくことが、医療者としてできる大きな役割であること強く感じました。

今後医療に携わる際には、目の前の患者さんだけでなく、その背景にある生活や地域全体に目を向けることは当然で、誰もが平等に医療を受けられる環境づくりに貢献したいと思いました。医療アクセスや貧困の問題を解決するため、医療者として何ができるのかを考え、地域や社会全体を支える医療を提供していきたいと感じました。

奄美中央病院や南大島診療所では、限られた医療資源の中でも患者さん一人ひとりに寄り添い、地域全体で医療を支える医療者の姿勢に大きな感銘を受けました。離島や過疎地域では、医療機関へのアクセスが限られており、経済的な負担や交通手段の問題から、適切な医療を受けることが難しい現状を目の当たりにしました。しかし、現地で働く医師や看護師、事務スタッフの方々が患者さんの生活背景や地域性を理解しながら、医療と介護を一体となつて支えている姿を見て、医療は単に病気を治すだけでなく、その人の生活を守り支えるものだということを改めて実感しました。



奄美中央病院前に建立された
憲法9条の碑



穂久 英明

Akihisa Hideaki
(倉吉東高等学校卒)

(姫島診療所 所長)

PROFILE：1977年京都大学理学部物理系卒業、1981年大阪大学医学部卒業。
1981年西淀病院就職。内科。専門研修は、大阪府立羽曳野病院。2019年より姫島診療所所長。

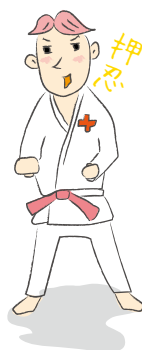


核兵器廃絶の必要性を訴える
安賀医師 (1987年)

すぐは変わらないが、声を
上げ続けると、平和は守れ
ません。軍事費が増えると、
医療福祉生活に回のお金が削
られます。自らの生活を守る
ため、平和を守るため、声を
大きく上げていきましょう。

民医連・保団連を中心とした反核医師
の会は、第6回西ドイツ（ケルン）総会
以降、毎年代表を送り、核兵器廃絶を中
心課題にするよう発言し続けると同時
に、世界の反核医師と積極的に交流連帯
して来しました。1987年2月ニユー

意を見ました。その後毎年、総会が開催
されました。当初から、核抑止力論を否
定する立場で活動していましたが、実践
的には、核実験のモラトリアム（停止）
のみを要求するという弱点を持っていま
した。



日本被団協のノーベル平和賞は、核兵
器禁止条約の成立に貢献した2017年
のICANに続きました。核兵器禁止条
約は、1996年4月、「モデル核兵器
禁止条約（MNWC）」という名で、
IALANA（国際反核法律家協会）、
INESAP（拡散に反対する国際科学
技術者ネットワーク）、IPPNW（核
戦争防止国際医師会議）の三つの国際
NGOから構成されるコンソーシアムに
よって起草され、2007年4月、コス

協会の歴史で、2人の被爆医師の存在が
光っています。一人は此花診療所の元所
長の小林栄一先生。長崎医専で直接被爆
されています。此花博愛会編纂の「被爆
者医療ひとすじに」に詳しく記載されて
います。のべ5000人の被爆者を診察
されました。TVでもドキュメンタリー
が放送されました。もう一人が、大阪社
会医学研究所の初代所長で「過労死」の
名付け親の田尻俊一郎先生で、8月9日
は、体調が悪く、長崎医専は休まれ、郷
里にいて、直接被爆はされていませんが、
原爆のことを聞かれ、長崎に戻り入市被
爆。自分だけ助かった。この思いが田尻
先生の過労死などの社会活動の原点かと
思います。

タリカ・マレーシア両政府の共同提案と
して正式に国連に提出されました。
IPPNWは、核戦争の脅威に対して
医療専門家としての影響力を動員し、核
兵器の廃絶と軍縮を求める医師組織の連
盟です。米国ハーバード大学公衆衛生学
部教授バーナード・ラウン博士とソ連心
臓学研究センター前所長エフゲニー・
チャゾフ博士との心臓学者としての長年
の交流より、二人の呼びかけにより
1980年12月ジュネーブで米ソの医師
たちによる会議が開催され、その後の
IPPNWの活動の基礎となる原則の合



社会活動の原点となった田尻先生（左）と
小林先生（右）

なにわの医療道場「こんなコト聞きたれ」大募集！



なにわの医療道場では、テーマを変えて医師を目指す方たち
へメッセージを掲載しています。技術的なことだけでなく、「医
師にとっての志」「社会の中での医師の役割」など、テーマは多
数。取り上げてほしいテーマなどございましたら大阪民医連ま
でご連絡ください。

大阪民主医療機関連合会（大阪民医連）
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階
TEL：06-6268-3970 FAX：06-6268-3977
E-mail：igakusei@oskmin.com

反核医師の会
核戦争に反対する
医師の会ホームページ



ICAN（核兵器廃絶
国際キャンペーン）
ホームページ



合格 HISTORY

自分に合った勉強方法を模索しながら 仲間との協力を大切に

夢をあきらめないあなたへ 先輩からの応援メッセージ!!

私は総合型選抜で高知大学医学部医学科を受験し、合格できました。地域医療への思いと、高知大学の研究室に惹かれ、志望しました。合格まで、成功と挫折を通して大切な教訓を得ることができました。

まず、受験生活の中で最も大切だと感じたのは仲間の存在です。仲間と授業内容や問題集をシェアし合い、互いにフォローすることで学力を高めるだけでなく、精神的な支えにもなりました。予備校での同じ大学を志望する友人と出会いは大きな励みになり、総合型選抜で共に合格を果たすことができました。

学習面に関しては、特に理科では基礎内容をしっかりと深掘りすることが鍵でした。また、高校1年生の頃から民医連での活動を通じて医療を学び、医学生とディスカッションを行いながら、自分の将来像を明確にできました。この経験は自己推薦書を書く際や面接において大いに役立ちました。加えて、ボランティアで環境保全活動や部活動に参加しました。高校3年生の夏まで部活動やボランティア活動を続けることで受験勉強へのやる気を引き出せたと感じています。これらの経験を生かし、集団討論では初対面の受験生と積極的に会話することができました。

受験当日は「これまでやれるだけのことをやった」という自信を胸に挑み、試験会場の緊張感にのみ込まれないよう努めました。集団討論では民医連で得た知識や、友人と事前に練習した成果が役立ち、面接では一時的な緊張を克服し、最後までやりきることができました。

一方、共通テストで選択科目のチェックミスにより点数を大きく失い、前期試験へのやる気や自信を失う経験もしました。この失敗から、どんなに小さなミスでも注意を怠らない重要性を学びました。受験は多くの人々の支えがあって成し遂げられるものだ実感しています。自分に合った勉強方法を模索しながら、仲間との協力を大切にすることで受験勉強を乗り切れることを願っています。



高知大学1年
おぎの ななみ
荻野 七海 (桃山学院高校卒)

申し込み
方法

医師体験



イベント



または

大阪医学生・研修医ドットコム 検索

<http://www.oskmin-igakusei.com/>

医学部をめざす

高校生・受験生のみなさんへ 未来の医師を応援



医師体験

平日、日本各地にある民医連加盟の病院や診療所で医師体験を実施しています。

お近くの事業所をご紹介しますのでお気軽にご相談ください。医師体験では医師との懇談や診察見学、病院・診療所の検査機器などの見学やオペ室見学、時にはカンファレンスに参加したり、訪問診療で患者さんのお家に伺ったり、あまり見ることもない医師の働き方を知ることができます。また、介護施設などの福祉施設見学もできますので、事前に興味のあることを教えてください。

※現在は各病院と一部の診療所で感染対策を徹底した上でおこなっております。

医学生・医師 としゃべり場

医学生・医師とのしゃべり場を開催しています。さまざまな大学の医学生に受験時の悩みや勉強の仕方、予備校の選び方等ざっくばらんに話することができます。時には保護者の方の悩みにもこたえてもらうことも。しゃべり場に協力してくれる医学生ボランティアも募集中です！



医学部受験には避けて通れない、医療倫理の分野から「安楽死」や「セクシャルマイノリティ」などをテーマに学習と交流を行っています。教材から、「患者の立場ならどう思いますか?」「家族の立場なら?」「お医者さんの立場なら?」と、さまざまな立場での視点でディスカッションをします。自分の意見をしっかりと伝え、相手の意見も尊重し、医師と一緒に、多様な意見があることを学びます。医師や医学生との交流もしっかりできます。

医療・倫理 セミナー

模擬面接会



推薦入試前と共通テスト後の時期に開催。

「面接とは?」のレクチャーの後、医師と管理職の面接官を前に面接を行います。志望大学の過去の面接内容を質問項目にあげ、面接後はフィードバックを行います。交流会では参加者や医師との交流も行います。

その他、合格おめでとう会 & 入学前実習や
さまざまなボランティア活動もやっています!!

西淀病院 上田大夏

(清風南海高校卒)

TAIKA
UEDA

地域に必要とされる医師を目指して

はじめまして。私は西淀病院で初期研修医をしている上田大夏です。今回、みなさんに向けて自己紹介をする機会をいただきました。

単に病気を治すだけではなく、患者さんやご家族、地域全体に貢献できる存在を志して私は医師になりました。正しい治療を行うだけの医師なら、私でなくてもいいかもしれません。しかし、患者さんやそのご家族が抱える不安や苦しみを受け止め、コミュニケーションと協力しながら、地域に根ざした支えとなることができる医師は、私自身が目指すべき姿だと考えています。

その思いに共鳴できたのが、西淀病院でした。民医連は「地域に求められる医療」「地域に駆け出す医療」を理念に掲げ、誰も取り残さない医療を実践しています。西淀病院なら、私が本当にやりたかった医師像に近づけると感じ（たのももちろんあります

が西淀病院の医局や病棟や多職種との関係が大好きで惚れ込んで（初期研修先を選びました。

将来の目標は、知識と技術だけに迫られる医師ではなく、患者さんとそのご家族が心から安心できる医師になることです。病気のものを見るのではなく、人として患者さんと向き合いたい。たとえ現代医療では解決できない状態でも、「上田先生の顔が見えてよかった。幸せな人生でした」



と微笑んで旅立ってもらえる——そんな医師になりたいと思っています。

医学の道は厳しく、日々勉強と反省の繰り返しですが、それでも人と関わる温かさを支えられ、医師という仕事に誇りを持っています。これから精進し、地域に必要とされる医師を目指してまいります。

近畿大学3年 馬淵研娯

(近畿大学附属高校卒)

KENGO
MABUCHI

「その人らしさを尊重する」訪問介護ってどんな仕事？

みなさん、こんにちは。近畿大学医学部3年の馬淵研娯です。みなさんはどのような大学生活を過ごしていますか？勉強はもちろんのことバイトや部活、旅行に行くなど充実した毎日を送っていると思います。私自身も、バイトと部活に追われる日々を過ごしています。今回は私がしている少し変わったバイト、訪問介護について紹介させていただきます。

介護といわれてもどんなことをしているのか想像できない、そもそも訪問介護という言葉は初めて知ったという人も少なくないと思います。訪問介護とは、各利用者の自宅に訪問してその人の住み慣れた家で生活の支援を行う仕事です。支援の内容は買い物や掃除から入浴や排泄まで生きていく上で必要なことを幅広く支援しています。

この仕事に従事する中で、人それぞれの生い立ちやライフイベント、それらを経験して培われた信念などを知り、「その

人らしさを尊重する」ことの実現がいかに難しいことであるかを痛感しています。また、入院して帰ってこられた方や難病や障がいを持つている方も多く、医療と介護のつながりを改めて実感し、今後医療に携わる者として治療するだけでなくその後の生活まで意識した医療を提供する必要性を考えさせられます。

介護という仕事は体力のいる仕事だと世間的に言われています。実際に利用者の体を動かすなど力が必要な場面も存在しますが、それ以上にやりがいのある仕事でもあります。やはり直接支援するという性質上、利用者の笑顔や「ありがとう」という言葉に触れる機会が多く、それが何よりの励みになります。日々の関わりの中で信頼関係が築かれていき、自分の存在が誰かの生活の支えになってい



ると実感できる瞬間が多くあります。また、介護を通して人生の先輩から多くのことを学べるのも、この仕事ならではの魅力です。確かに体力や精神力が求められる場面はありますが、それ以上に人としての成長を感じられる仕事だと自信をもって言えます。

みなさんは介護という仕事についてどのような印象を持っていましたか？多くの人のとおそらく介護は普段は気にも留めていないようなことだと思えます。この機会に少しでも興味をもっていただければ幸いです。

また、介護に限らず自分の興味のない分野について知る機会が欲しい、自分の興味のある分野について知ってもらいたいという人はコナモンズ（関西医ゼミに行く会）という学習サークルがあるので、ぜひご参加ください。コナモンズでは月に一度、大阪のさまざまな大学のメンバーで個人が興味のある分野を自由に持ち寄って学習会を行っています。

自ら学び、他者に伝える、そんな学生たちと活動するのはいかがでしょうか。



国試対策にも役立つ なるほど道場

国試対策にも役立つ問題を3問出題します。正解者の中から抽選で**10名**様に「Quoカード1000円分」をプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。クイズの正解は次号で発表します。

締め切り 2025年11月30日(日)

今回の出題

- Q1** 痛みのない血尿（無症候性血尿）を見つけたとき、どうすべきでしょう？
- a しばらく様子を見る b 市販の漢方薬を飲んでみる
c 泌尿器科で精密検査を受ける d 水を多く飲んで治るのを待つ
- Q2** 前立腺がんは、早期にはどのような症状が出やすいでしょう？
- a 排尿時に激痛がある b 尿が赤くなる
c 症状がまったくないことが多い d 尿のにおいが強くなる
- Q3** 以下のうち、血尿の原因として“最も見逃してはいけない”疾患はどれでしょう？
- a 膀胱炎 b 腎結石 c 尿路結核 d 膀胱がん

出題してくださる先生

とう じょうけん し
東 條 賢 士

(大阪教育大学附属高等学校平野校舎卒)
PROFILE ● 2024年大阪公立大学卒業、耳原
総合病院にて初期研修中

応募方法

応募締め切り：2025年11月30日(日) E-mail送り先：igakusei@oskmin.com 「なるほど道場」プレゼント係
応募方法：①～③までの答えを明記し「お名前」「ご住所」「電話番号」「大学名・学年」「取り上げてほしい
記事」を記入し、左のE-mailアドレスまで送信するか同封のがきにご記入のうえ下記住所ま
でお送りください。ご不明な点は下記までお問い合わせください。

● 大阪民主医療機関連合会（大阪民医連）
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階 TEL：06-6268-3970 FAX：06-6268-3977

No.82の答え Q1. a Q2. c Q3. c, d

ええやん！ 皆さんに当会の取り組みを知ってもらうために担当スタッフが様々な記事を絶賛配信中です。
イベントや病院見学など、みなさんにも有益なお知らせを散りばめています。
気に入った記事があったら、ぜひみなさんの「ええやん！」をお願いします。



@osaka.miniren.igakusei



@oskmin_igakusei



<http://www.oskmin-igakusei.com/>



SUPPORT CENTER

- **阿倍野医学生サポートセンター**
〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町 1-1-17 サンビル阿倍野 4 階
- **枚方医学生サポートセンター**
〒573-0051 大阪府枚方市三矢町 5-18 メゾン枚方 114 号室
- **狭山医学生サポートセンター**
〒589-0023 大阪府大阪狭山市大野台 1-32-62 ソレイユシンド 2 階

医学生のための サポート センター

大阪民医連では近畿大学狭山キャンパス、大阪公立大学阿倍野キャンパス、関西医科大学枚方キャンパスの近くに医学生サポートセンターを開設しています。無料で使用できる印刷機を設置していたり、Wi-Fiもあります。ランチ会やディナー会を行っていますので、お気軽に利用してくださいね。

枚 方



関西医科大学から徒歩約10分の場所にあります。
マンションの一室にあり、アットホームな雰囲気です。
毎週水曜日和木曜日にランチ会やディナー会を行っています。

大阪公立大学から徒歩3分の場所にあります。交差点をわたってすぐ!! 自習室のような場所です。



阿倍野

阿倍野医学生サポートセンター

大阪公立大学から歩いて3分（青信号なら）

狭 山



※11月頃に泉ヶ丘駅近くに移転予定



近畿大学狭山キャンパスから徒歩5分の場所にあります。奥には畳の部屋もあり、毎週水曜日和金曜日にみんなでランチ会や、月に1回ディナー会をしています。